



福祉施設 広報誌

# 木もれ陽

No.81

2021.夏号



デイケアセンター利用者の皆さんの作品



木もれ陽……

木立の合間からやさしくもれる光

木立の中の生命を育てる光

それは多くの皆様からの優しく支えられた愛である

「やさしさと愛情」「やわらかいぬくもり」

「あたたかい思いやり」である

## 岡山県済生会の理念とビジョン

～切れ目ないサービスのために～

### 岡山県済生会の理念

あらゆる人々に手をさしのべ寄り添う済生の心で  
信頼される医療・保健・福祉のサービスにつとめます

### 岡山県済生会のビジョン

#### 社会におけるポジション

1. あらゆる人々に信頼されるパートナーを目指し、良質・安全で、潤いのある医療・保健・福祉サービスを提供する岡山済生会トータルライフケアシステムを実現します。

#### 事業経営の将来像

2. 済生会グループの総合力を活かし、地域との連携のもと、医療から介護に至るまでの一貫したサービスが提供できるネットワークを構築します。

#### 組織の人のあり方

3. 適切な人事評価やキャリアアップ支援など、職員が誇りとやりがいを持てる組織を目指し、職員満足と健全経営の両立を図ります。

目

次

- ライフケアセンター…………… p 2 ～ 9
- 憩いの丘…………… p10～11
- 備中荘…………… p12～13
- 宇垣荘…………… p14～15
- 玉松園…………… p16～17
- 和みの郷かなや…………… p18～19
- 新人紹介…………… p20

## コミュニティカフェ「なでしこ」

コロナ禍ではありますが、地域の皆さんのご要望もあり、コミュニティカフェを毎月1回開催しています。感染対策に配慮して、広いやすらぎホールで、消毒、換気など十分気を付けて行っています。

毎回、ボランティアさんと職員でいろいろな企画を考えて、楽しんでいただいています。

地域の皆さんのストレス、運動不足の解消に役立てればと思います。



4月16日(金)



健康講和



健康体操

5月21日(金)



竹刀を使った健康法



クラフト

## 集団リハビリ



新型コロナウイルスで中断になっていた集団リハビリが7月1日から毎週木曜日に再開になりました。集団リハビリの内容はDVDの体操を見ながら行います。ストレッチから始まりマツケンサンバ、どこかで春が、手のひらを太陽に、きよしのズンドコ節、スーダラ節の盛りだくさんの音楽に合わせて入居者様も楽しんで体操されてます。新型コロナウイルスで外になかなか出られませんが、こうしたレクリエーションを通して心や体を元気づけることが大切です。

介護職員 藤田 康子



## 七夕飾り

♪笹の葉さ～らさら～のきばにゆれる～♪  
という事で今年も7月5日に入居者の方と七夕飾りをしました。短冊には思い思いの願い事を書いてくださいました。

7月はあいにくの梅雨の時期…ですが「雨が降った方が縁起がいい」という言い伝えや旧暦の七夕は、現在の8月になる為、天候に恵まれなくても次の月にチャンスがある!とも言われているそうですよ(^ ^)

皆様の願い事が天に届きますように☆  
今年も暑い日が続きそうです。体調管理に気をつけて一緒にこの夏を乗り越えましょう(^^)!



介護職員 雲岡 祐加



百三歳のお誕生日おめでとうございます。  
最近、百三歳で現役の陸上競技選手をされたり、現役の理容師をされる等ご活躍中の長寿の方が増えておられるようです。健康に長生き出来る秘訣を教えてくださいたいものです。三宅智恵子様のご健勝とご多幸を職員一同願っております。これからもどうぞよろしくお願いたします。

相談員 野上 雄介

## お好み焼き会

長引くコロナ禍のなか、相次ぐ行事の中止により入居者の皆様の心の疲弊を慰めるためにお好み焼き会を開きました。

朝早くからの仕込み、準備を済ませあとは焼くのを待つばかり。  
楽しみにしていた入居者様が段々集まってこられ、皆様「おいしいね。」「うまく焼けている。」などのお褒めの言葉をいただき、喜んでもらえて良かったと職員一同笑顔(^^)

あとで職員もごちそうになりお腹も心もほっこりしました。  
また皆様の笑顔を見られる様に、共に逆境を乗り越えて頑張っていきたいと思えます。

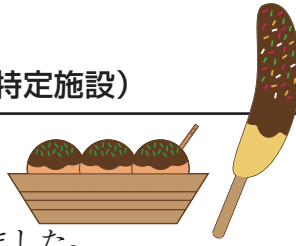


介護職員 柴原 美恵子

## なごみ苑

有料老人ホーム(混合型特定施設)

### 《なごみ祭り》



6月29日なごみ苑食堂にてなごみ祭りを行いました。

食べ物メニューはチョコバナナとたこ焼きです。肝心の味ですが「美味しい。」「本格的な味だ。」といった声が数多く聞かれ、とても好評だったように思います。

飲み物は4種類の中から選んでいただきました。今回飲み物は演出も兼ねて氷の中で冷やしてみました。こちらもとても好評で「冷たくてノンアルコールビールがとても美味しいわ」と、中にはおかわりする方までおられました。

さらに今回はくじ引きをおこない、特賞、1等賞～5等賞の計6種類の景品を用意しました。事前に「合図するまでくじ引きの紙を開けないようお願いしますが、いざくじ引きが始まると早速我慢できない方がくじを開けてしまい、「1位が当たったよ」と大きな声で発表してしまうというハプニングもありました。やはり、くじ引きはいつになっても楽しいものですね。

まだまだ新型コロナウイルスの終息が見通せない状況ではありますが、今回はみなさまに集まっていただき、喜ばれていた姿を見てこちらもうれしくなりました。早く終息し、また楽しい行事ができればと思います。

介護職員 新田 祐子



### 《七夕茶会》



今年はちょうど7月7日に、七夕茶会を開くことが出来ました。

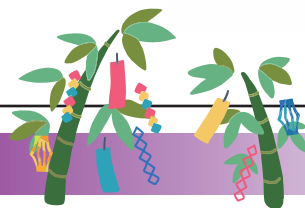
あらかじめ皆さんには、願い事を短冊に記入をして頂き、前日に笹に飾り付けをしました。今年の願い事はやはり「コロナの終息」や「以前のような日常が戻ってきますように・・・」との願いが大半でした。一年以上も不自由な生活を送られており、ご家族様とも思うように会えない状況が早く改善するよう願い事に託された方が多くおられました。

外出もままならない中、たくさんの方に参加して頂き、お菓子とお茶を頂きながら〇×ゲームで盛り上がり、皆さんの願い事を読み上げたりと楽しいお茶会になりました。

因みに、お茶菓子は七夕をイメージした「芭蕉庵」さんの生菓자에、冷たいグリーンティーを準備させて頂きましたが、グリーンティーを初めて飲まれた方もいて感激の声も聞かれました。短冊に書かれた皆様の願いが叶い、以前のような日常が早く戻ってきますように・・・☆彡



介護職員 井戸 富美子



## 七夕

7月7日は七夕でした。みなみがた荘でも利用者様がそれぞれの思いを込めた願いを短冊に書かれ、職員や利用者様同士で協力して笹に飾り付けられました。利用者様の願いも様々で「コロナに負けない」と新型コロナウイルスに負けないように願いを書かれている方もおられれば、「元気にご飯をたくさん食べられるように」等それぞれの個性的な願いを天に向かって願っておられました。飾り付けの場



面では、利用者同士で積極的に飾り付けられ、普段はあまり動かない利用者様も「色々な願いがあるね」と談笑されながら積極的に参加していただきました。7月7日はあいにくの雨となりましたが、「来年こそは晴れて天の川がきれいに見られたらいいね」と話されておられました。7月7日は現在では梅雨の時期ということもあり降水率が高いですが、かつては旧暦なので現在でいうところの8月上旬頃なので晴天率の高い行事だったそうです。コロナ禍で制限された生活が続く中、利用者様の希望に満ちた願いや言葉を聞くことが出来てこちらがとても元気をいただくことが出来ました。



介護職員 佐宮 琢馬

介護職員 佐宮 琢馬

## 5月の誕生日会&母の日

新型コロナウイルスの影響で家族との直接面会も思うように出来ない日が続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

私達スタッフは入所者の皆様に日々の生活に楽しみを提供できる様努めています。5月の誕生日会では「箱の中身は何でしょうか？」ゲームを行いました。目かくした人が箱の中身を当てるゲームです。観客側からは箱の中身が見えます。

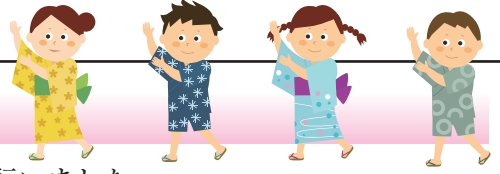
観客からはヒントがバンバンと飛び交います。ヒントが出る毎に中身を当てる人の頭の中は何だろうか？と色々な物がグルグルとかけめぐります。とんちんかんな答えが出ると客席からは笑いが起きていました。平凡な日常生活に笑いがありNK細胞も活潑になったことでしょう。

最後に母の日のカーネーションの贈呈がありました。



華やかなカーネーションをいっぱい抱えてカーネーションに負けない素敵な笑顔があふれていました。これからも健やかに過ごせるようにスタッフ全員で頑張っていきます。

看護職員 露無 今日子



## 《ミニ盆踊り大会を開催》

7月21日水曜日の午後から各階それぞれでミニ盆踊り大会を行いました。  
今年も行事が中止になっており、面会や外出もできない為季節感を感じてもらえればと思い企画していただきました。

実は職員が踊りに不安があり前週にカラオケ機を借り入所者様と練習を行いました。テレビに繋がっている最中に「何やるの?」、「盆踊り?」と興味を持っていただき、いざ始まると皆様集中して踊っておられました。

当日はまず挨拶から始まり、盆踊りの由来の紹介から2回練習動画を観て行い本番動画を一緒に行うという流れです。曲目は「東京音頭」「炭坑節」。

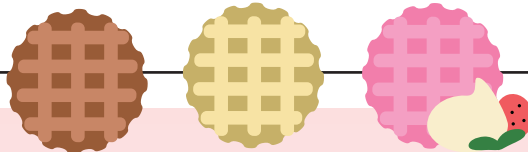
本番でも皆様集中しておられ、動きが不自由な方も一所懸命に踊っておられました。合間では笑顔があったり、隣の方と感想を言い合ったりしておられました。「どうでした?踊れましたか?」と尋ねると「全然」とか「難しいわ」と笑いながら答えて頂きました。

ハッピを用意していましたが入所者様は着るのを嫌がられる方が多くほぼ職員が着るということになってしまいました。

まだまだ制限が多く不自由な生活ですが今回のレクリエーションが少しでも気分転換になればと思います。

介護職員 笹埜啓介





## 〈2F〉《6月お楽しみ会・7月七夕》

コロナ禍での感染対策の中で、たちばな苑におきましても御利用者様、御家族様共にご自由にふれあい、また、直にお会いする事が難しい状況が続いております。

少しでも施設での生活に変化や楽しみを感じて頂きたく、レクリエーションの一環として定期的に各階で行事やお楽しみ会等を企画、開催しています。

2階では6月はお楽しみ会として、手作りのホットケーキとワッフルを作りました。ふんわり甘い香りにフロア中が包まれ、御利用者の皆様は勿論のこと、香りに誘われて他の職員の方もつい引き寄せられるようです。「美味しそう!」と喜ばれる皆様の笑顔に、私達も元気をチャージできたひとときでした。

7月には七夕の行事として、短冊にご利用者様にお願い事を書いて頂いて飾りました。「皆の願いがかないますように」と書かれた短冊に感動。「若返りたい」と書かれた短冊に大笑い(笑)。「孫に会いたい」「家族が元気で過ごせますように」と、愛する御家族への想いも尽きません。

それぞれの願いを綴った短冊が彩る七夕飾りに、今年も夏の訪れを感じます。

御利用者様、御家族の皆様がこれからも御健康に恵まれ、以前のように自由にお会いでき、ふれあえる日常が1日も早く戻ってきますように。

介護職員 福見 真奈美



## 〈3F〉《短冊に願いを込めて》

今年も七夕様がやってきました。たちばな苑でも、入所者の皆様と一緒に笹に飾り付けを行いました。

「笹の葉さ～らさら～♪」と、飾りを見ながら歌うと一緒に歌を歌って下さいました。

コロナ禍なのでお願い事が「早くコロナが収まりますように」や「家族と早く手をつないで会えますように」等、コロナが速く収束して欲しいといった、お願い事が多い様な気がしました。もちろん職員の短冊にも「コロナの収束を願う」といったお願い事がありました。中には「世界平和」や「家内安全」「元気で長生き」等のお願い事もありました。

皆様も今年はコロナの収束を願ったのではないのでしょうか。

「早く対面で、家族と手を取り合って面会ができる日が来て欲しい」と、思っています。

介護職員 川崎 由美



## 〈4F〉《誕生日会》

7月11日に誕生日会を行いました。皆様でハッピーバースデーを歌い盛大な拍手と共に誕生日会が始まりました。出し物として箱の中身あてゲームを行いました。箱の中身には花瓶や帽子、コップ、スポンジにカッターなど様々なものを用意しました。これらを箱の中に入れ手を入れて中に何が入っているのか当てて頂きました。「これはなんだろう」「これはプラスチック? うーん…」などの困ったようなしかし楽しそうな声が聞かれました。

普段見慣れている物でも触感だけで当てるのは難しく苦戦している様子も見られましたが最後は皆様箱の中身を当てることができました。

誕生日を迎えた方は「なかなか楽しめた。ありがとう」と笑顔で言われました。

未だにコロナ収束の目途が立たず様々な行事が中止となっています。そんな中で皆様が笑顔で楽しめるような企画をこれからも計画していきます。



介護職員 岩端 摩季

## デイケアセンター

### 通所リハビリ

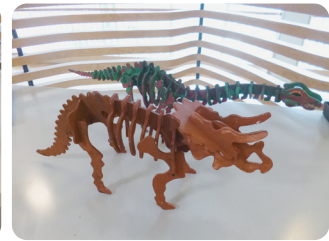
#### 『作品づくり』

デイケアでは、色々な作品を皆様と一緒に製作しています。

今、一部の方の中でちょっとしたブームなのは、木製プラモデルです。小さなパーツを板から取り外し、説明書に従ってパーツを組み合わせて組み立てていきます。「難しいなあ」と言われながらも、挑戦され、作品も幾つか完成されています。

デイケア名物『新聞こねこね・紙ペタペタ』作品で、今回はデイケアの看板を作りました。この看板のチャームポイントは、鳥が仲良く寄り添っているところです。これが愛らしく、何ともいえません (\*^\_^\*)

展示は2階エレベーター前です。看板の他にも色々な作品を飾っていますので、お時間のある方は、是非お立ち寄りください。



#### 『ついに出来ました!! 100点!!』

以前、木もれ陽にも掲載しました、ボードトレーニングでついに100点が出来ました!!

ご覧ください、この笑顔! 100点、おめでとうございます!!



#### 『クラリネット二重奏』

リハビリとデイケアのスタッフにクラリネットを吹ける職員がいます。「せっかくなので、一緒に演奏しませんか?」と言う事になり、クラリネット二重奏をする事になりました。

利用者様からは、「上手ですね」「もう終わり? まだ聴きたい」「今日は来て良かった。思いがけず素敵な演奏が聴けました」「また聴かせてね」との嬉しいご感想を頂きました。

コロナ禍で色々な事が制限されている中、少しでも皆様の癒しとなれば幸いです。



介護職員 長町 理絵

## 認知症を予防して健康寿命をのばそう!

平均寿命と健康寿命という言葉聞いたことがあると思います。その二つの間には男性で約9年、女性で約12年のへだたりがあり、いかに健康に長生きするかが課題になっています。現在、介護が必要となる要因で一番多いのが、脳卒中などを抜き認知症と言われています。

「認知症」とは、記憶力や判断能力、時間・場所・人物などを理解識別する脳の機能が低下し、日常生活に支障がでる状態のことです。

認知症を予防し、健康寿命をのばすためには、運動習慣や栄養バランスの良い食事、規則正しい生活、人との交流などの良い生活習慣を身に付けることが有効です。また、表情が乏しくなり身なりを気にしなくなったり、家族の名前が出てこなくなったりする認知症の初期症状を早期発見して専門の医療機関に相談することも大切です。

理学療法士 山本 健吾



デイサービス通信

☆作品作り☆

デイサービスでは作品作りをしています。その中の一部を紹介したいと思います。  
まずは一寸法師のちぎり絵です。とても素敵に仕上がりました。



こちらは利用者さんが魚の模様までこだわって貼っていて、まるで魚が生きているようにも見えます。一寸法師もとても生き生きとして見えます。見ていてもとても感心しました。次は、花火の貼り絵です。今年もコロナ禍の中で夏らしい行事は開催されず少しでも夏らしい雰囲気を味わえるよう花火の貼り絵を作りました。ハギレを切って布貼り付けたものですが、カラフルに仕上がりました。作る時もどのように貼ると綺麗にみえるのか話をしながら貼りました。なかなかの仕上がります。



☆七夕かざり☆

7月7日は七夕です。今年も七夕かざりを作り笹に願いごとと一緒に笹に吊るしました。お願いごとを皆さんに書いてもらう時に「お願いごとは急に言われても思いつかんわあ。」と言いながらも皆さん願いを込めて書かれていました。コロナ禍で皆さん遠方のご家族に会えない日々が続いているので家族が元気で居て欲しい事や自分の体が元気で過ごせますようになどこの時期にちなんだお願い事が多かったです。今年の七夕も雨でしたが、皆さんの願い事が叶いますように。。。



☆あさがおが咲きました☆

昨年同様に中庭にあさがおの種をまき、花が咲きました。  
花が咲くまでが待ち遠しかったのですが、花が咲くと「わあ～綺麗じゃなあ！」  
「今年のは色がいいなあ。」等喜びの声が聞かれました。あさがおの花が咲くと夏が来たと感じる今日この頃です。



介護職員 稲本 祐子



特別養護老人ホーム

## 特別養護老人ホーム 憩いの丘

### 長期入所 ～七夕会～



7月7日、恒例行事となった『七夕会』をコロナの影響で各家で行う事となりました。職員が彦星★織姫の衣装で歌を唄ったり、紙芝居、ご利用者様が願いを込めた短冊を読み上げたりと楽しいひと時を過ごす事ができました。

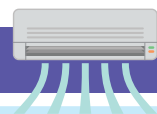
七夕会に出席できなかった方へはお部屋にお伺いし「はい、ピース」。記念写真を撮影し、とても喜んで頂きました。おやつには星形のゼリーが提供され「わーカワイイ」と喜ばれ、美味しく頂きました。

介護職員 渡辺 映子



## 憩いの丘 デイサービスセンター

### 要注意 熱中症について ～暑い時期を乗り切ろう～



理学療法士は本院からの出向で、憩いの丘に3名が常駐しています。それぞれのカラーを活かして得意とする分野でサービスを提供し活躍中。「ちょっと先生。」と引っ張りだこで頼もしい限りです。



令和2年度で見ると、全国における熱中症での救急搬送の内高齢者が6割近くを占めています。都道府県別では、人口10万人当たりの救急搬送人員は、鹿児島、熊本、鳥取、和歌山に次いで岡山県が第5位！しかもその多くが自宅で発生していると聴いては、ご利用者に注意喚起しないわけには行きません。

7～8月を熱中症予防啓発月間として、石井理学療法士の講座に参加して頂きました。暑さやのどの渴きを感じにくく、トイレの回数を気にして飲むのを控えたり、電気代を気にしてクーラーをつけないとか我慢や無理をしてしまいがちな高齢者の皆様です。皆真剣な眼差しで映像を観て領いています。

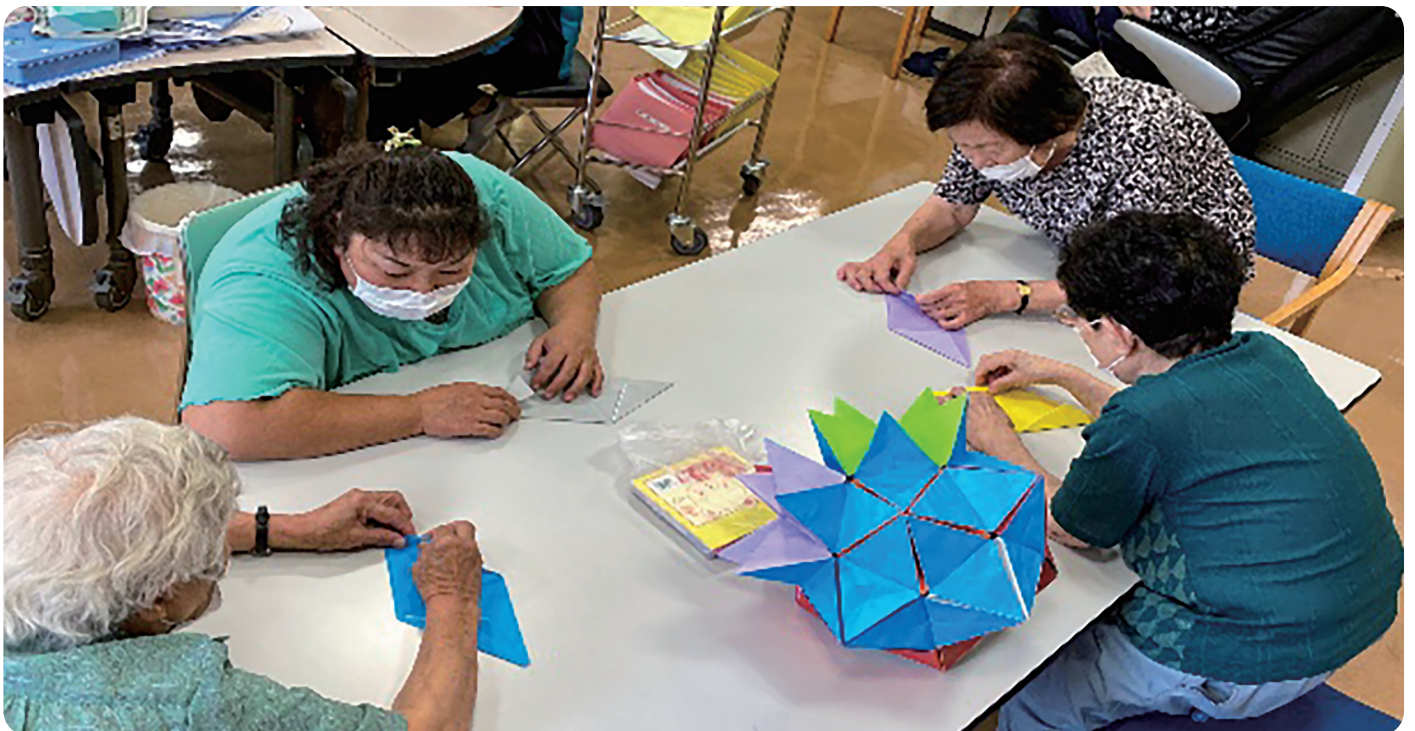
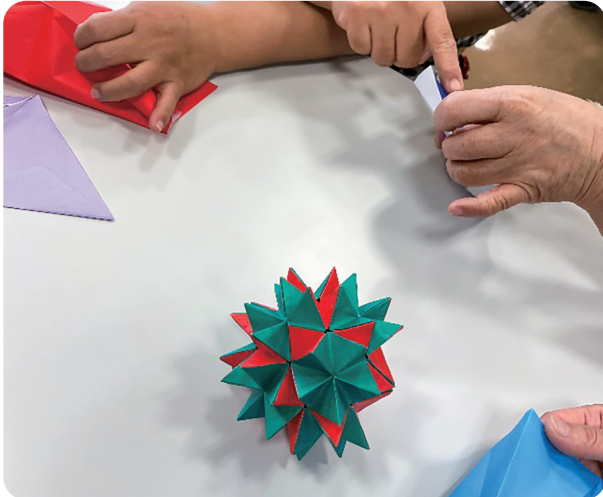
「知ったことあるし、へーそうかなと思うのもあった。」

「話を聴いて自分は出来てないなーと思うた。」

「ビールやこー飲んどってもおえんのんじゃな。」と感想を述べました。リスクが高く重症化しやすい高齢者に是非元気で暑い時期を乗り切ってもらいたいものです。

デイサービスセンター  
管理者 吉岡 弘子

## 折り紙教室☆≡



ボランティアの方と一緒に利用者3名“立体折り紙花のくす玉”作りに参加しました。

「やった事がねーけど、出来るかな?」「難しいなあ」「角がきちんと、そろってないけどいいのかなー」「裁縫の方が簡単」など感想を口にしながら、立体的に折り紙を折る事を初体験しました。

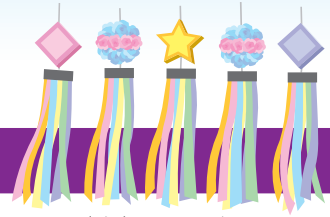
くす玉が開く事を説明すると「これは開くんかな!!」一枚説明してもらい折る度に「何枚あれば、これができるん?」「90枚です」「90枚!!!」と驚く利用者の方々。

ボランティアの田中さんもその都度繰り返し丁寧に教えてくださり、皆さん真剣に耳を傾け熱心に取り組んでおられました。利用者の方も大きなサイズの折り紙の見本用を見て「これ貰って帰ってもいい?家で折る練習するのに分からなくなったら見ようと思うんじゃ!」となかなか前向きです。

コロナ禍で外部と交流する機会も激減でしたが、感染対策の下、久しぶりに利用者の方々とは外部指導者の交流で楽しく真剣な時間になりました。

介護福祉士 川崎 祥子

## 七夕の日のお楽しみ



令和3年7月7日(水)、七夕の日の昼食に“七夕カレー”、おやつに“七夕ゼリー”をお作りしました。七夕メニューには“七夕そうめん”というのも良く見るメニューではありますが、備中荘では、例年七夕カレーとして提供して、「美味しかったよ」と好評でした。

おやつの七夕ゼリーは白と紺色の2層で夜の空を、みかん缶で流れ星をイメージしたものです。こちらも「綺麗～」と好評でした。



管理栄養士 谷口 直美

## 備中荘・吉備病院合同夜市 2年連続の開催中止

毎年8月に開催していましたが、備中荘・吉備病院合同夜市ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年に続き今年も開催を中止することとなりました。

入所者様や地域の方々もとても楽しみにしてくださっている夏の恒例行事ですが、県内等の感染状況から判断し、断念せざるを得ませんでした。

例年は、当日の天気を心配したり、提灯やテントなどの会場準備、食材準備、アトラクション、来賓対応など細部にわたることまで意識し、少し焦りながら準備を進めていたことを思い出します。来年こそは開催できる状況になっていることを信じて、今夏を乗り越えようと思います。

事務職員 市川 浩司

## 新型コロナワクチン接種

新型コロナウイルスの感染者数は増加の一途です。

日本国内でも令和3年2月から始まった新型コロナワクチンの接種状況は、7月中旬時点で2回接種した人の割合が、約2割ほどです。集団免疫を獲得するまでは、まだまだ時間がかかりそうです。

備中荘では4月末より職員への接種が始まり、5月には入所者様の接種を行いました。新しい種類のワクチンということもあり、入所者様への接種は重い副反応が出現した場合に迅速な対応ができるよう、済生会吉備病院の協力を得て、準備を入念に行ったうえ臨みました。接種後は微熱や接種部位の痛みを訴えられる方も数名おられましたが、重い副反応はなく、無事2回のワクチン接種を終えることができました。

ワクチンによる発症予防効果は約95%と報告されていますが、現時点では明らかになっていないことも多いため、引き続き感染症予防対策を徹底し感染予防に努めていきたいと思っております。



看護職員 佐々木 由美子

## 高齢者施設従事者等に対する新型コロナウイルスPCR検査実施

令和3年6月16日（水）～6月18日（金）及び6月30日（水）～7月2日（金）の計2回6日間に渡って、備中荘に勤務する職員（非常勤、委託業者を含む）を対象に、唾液によるPCR検査を実施しました。これは、高齢者施設における感染の未然防止及び早期発見を図り、感染拡大を防止するとともに、医療提供体制への負荷の増大を防ぐことを目的とされ、岡山市保健所感染症対策課が主体となり実施されました。

検査結果は、全員陰性の判定となり一安心しましたが、世界的に見ても新型コロナウイルスの変異株が次々と発生している状況でもあります。引き続き、感染症対策を徹底し施設サービスの充実、提供に努めたいと思っております。

事務職員 市川 浩司



## 『皆に早く会いたいな!元気だよー!』

なかなか外出が出来ませんがユニット内で入居者の皆さんは、笑顔で元気に頑張っています。ある日には皆で書道をし、なかなか会えない家族の方に日頃の感謝の気持ちを一生懸命書かれました。写真を撮る際には「これ持ってから～恥ずかしいな～」と照れた表情をされ、とても微笑ましい一時が流れました。書いている途中に「はよー会いてーなー」「〇〇は元気にしよるんかなー」と家族の事を心配されていました。

誕生日にはささやかですが職員の手作りカードでお祝いさせて頂きました。

日頃の感謝の気持ちをお伝えすると「ありがとう」と言って下さり、いつもよりも何倍も良い笑顔を見せて下さったのでそれだけで私達職員は癒されます。

母の日にも職員の手作りのカードを作成し日頃の感謝の気持ちをお伝えしました。「こんな可愛いありがとう」「母の日は今日じゃったんじゃな忘れとったわ」等々感謝の気持ちを頂き職員も嬉しく思っております。

私達職員も皆の笑顔に癒され、頑張ろうと思える活力になっています。これからもたくさんの笑顔が見られるよう職員も頑張っていきます!

1日も早く以前のような日常に戻りますように!!!



# いつもありがとう



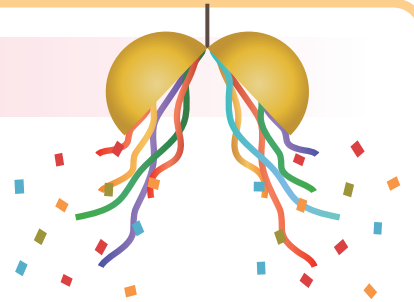
介護職員 市川 麻美

# 宇垣荘開設記念日

7月2日は9回目の宇垣荘開設記念日でした。記念交流会として先ず、チラシ寿司や天ぷらなど色とりどりの松花堂弁当を頂きました。「ごちそうじゃな」「美味しいな」「ここが建ったところからおるんよ」「毎日が楽しいから早く時間がたつわ」と会話が弾みます。

そして食後に歌当てクイズを皆様で行いました。「この曲知っているけどなんじゃたっかなー」やイントロを聞いて問題をすぐに答えられる利用者様もおられ、楽しい時間を過ごしていただく事が出来ました。

来年もまた、皆様の笑顔が見られる様に、職員一同尽力してまいります。



介護職員 伊達 美智子

## デイサービスセンター

# クラフトクラブ活動中

デイサービスでは月に1作品の完成を目指して季節にあったものを作っています。「工作大好き〜」「今日は何作るん?」、試作品を見て、「まあ、かわいい!作ってみたい」と、毎回やる気満々です。でも、作る時に見本はお見せしません。自分で工夫したり、デザインを考えたりして、材料は一緒でもそれぞれちょっと違う個性的な作品が出来上がることを期待しています。これからも、明るく楽しくなるような作品を作っていきたいと思えます。



看護職員 江田 知里

6月「かえる」

7月「金魚鉢」



# 玉松園

養護老人ホーム

## 新型コロナウイルス予防接種を実施して

新型コロナウイルス予防接種に岡山済生会病院接種班の方が巡回訪問して下さる事が決定し、事前に病院の接種会場の見学をさせて頂き、準備品等々の説明を受けました。当園には必要な物品が何もなく、病院の資材課、薬局に相談させて頂き協力を得る事が出来ました。接種券の準備、予診票の記入、会場の動線確認や役割分担などを入念にチェックし施設内でもシミュレーションを実施しました。



当園では、入居者54名職員26名を2班に分けて1回目は5月14日、21日で2回目は6月4日、11日で実施しました。当日はスタッフが会場への誘導や問診の補助、15分間の状態観察と接種をスムーズに進める事が出来るように協力体制で臨みました。「不安だったけど、痛くなかったわ〜。」「予防注射してもらえて良かった〜安心した。」などの声を頂き、大きな問題もなく無事に全員のワクチン接種を終えることが出来ました。

病院の接種班の方々、ご協力いただいた資材課の方、薬剤科の方ありがとうございました。

看護職員 榊山 幸枝

## コンプライアンス研修

令和3年5月18日、職員によるコンプライアンスの研修を実施しました。

コンプライアンスは一般的な「法令遵守」という意味の他に規程やルールへの遵守、また、社会的規範や倫理・道徳基準の遵守ということでも使用されています。社会的責任の具体的な内容も単に法令を遵守しておけば良いという意味だけでなく利用者のみならず、行政、地域住民等に対して責任ある活動や行動が求められていることを学びました。



個々の行動指針を明確に提示できる体制をとり、一人ひとりが役割や責任を持って誠実に行動すること、更には、そのためには基本的な考え方を常に振り返り自己研鑽を重ね、より良いサービスの提供のため各専門職の質の向上を図ることが重要だと感じました。

計画作成担当者 田村 浩子

## エレベーターに閉じ込められたら？

令和3年5月25日（火）にエレベーター内閉じ込め時の救出作業について教わりました。

もし非常時エレベーターに閉じ込められたら、入所者の精神状態はどれほど不安定になるでしょうか。「いつになったら開くのかな?」「窒息しないかな?」等、次々に不安がつってくるでしょう。

もちろん業者の到着を待ち救出を受けることが二次災害防止に繋がると思いますが、早急に救出活動が必要になる場合もあります。

手順はさほど難しくないだけに、救出時はいかに取り乱さず作業を行えるかが重要だと思いました。私も当直に入ることがありますが、夜間等職員数が限られた中では特に一人ひとりの動きが責任重大です。



いざという時入所者のみなさんが安心して避難できるよう、今後も今回の事を思い返しながらいざという時業務に励んでいこうと思います。

事務所 坪本 恭平



## 玉松園園内研修

6月23日に玉松園では、『より良い介護を目指して』という題目で虐待防止・身体拘束委員による園内研修を行いました。

コロナ渦で外部への研修参加が難しいため、虐待・身体拘束への意識を高められるよう実施しました。

今回の研修は、1つの高齢者施設の**事例ドラマ**を見て、どういった場面がNGだったか？どれだけの事に気付けたか？自分だったらどう対応するか？などをチェックする内容でした。

※ドラマを見ての職員の意見、感じたこと

「自分自身も気が付かず、ドラマと同じ様な対応をしているかも」

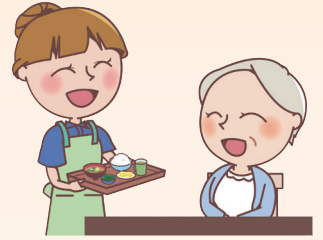
「言葉掛けの大切さ、感情のコントロール」

「介護者の都合や不適切なケアは職場の中で広まりやすい」

「ドラマを見て自分の両親だったらどうしようと思った」

「解っていても注意しにくい自分もあります」

「自分の中でストレスをためない」など、たくさんの意見がありました



※最後に、高齢化が進み被介護者の人数が増えるとともに、高齢者虐待の問題が深刻化してきています。自宅や施設、病院など場所を問わず様々な現場で起きているのが特徴です。

実際に現場のほうでも何気ない日常生活の中で、言葉使い、態度など自分では気が付いていないかもしれませんが、相手が傷ついていることもあります。



思いやりの気持ちを大切に…ストレスをためない。心にゆとりを…♥

働きやすい環境、雰囲気を作ることなど入居者の方々が安心して過ごせるように頑張っていきたいと思えます。

介護職員 八木 祐子

## サルビアの寄贈

6月29日に毎年恒例の御津婦人会様より『サルビア』の寄贈がありました。今年も新型コロナウイルスの感染予防のため為、職員のみでの受け取りになりましたが、たくさんのサルビアの苗とマリーゴールドの苗を頂きました。入所者の方がすぐに苗をプランターに植え替えて、水やりをして、正面玄関にならべてくれました。入所者の方もうれしそうに大事に育ててくれると思います。御津婦人会様、たくさんの苗と土ま



で用意して下さい、ありがとうございます。

事務所 吉澤 和幸



# 和みの郷かなや



養護老人ホーム（一般型特定施設）

## ワクチン接種開始!!

4月28日（1回目）・5月19日（2回目）：新型コロナワクチン接種

準備

新見市内高齢者福祉施設先行で、新型コロナワクチン接種が開始されました。

初の事なので、事前に主治医や病院スタッフと入念な打ち合わせを重ねながら当日を迎え、施設内で集団接種を行いました。

入所者はもとより、職員も緊張しながらマニュアルに沿って体調確認を行い、全員が落ち着くまで会場内で待機しました。

入所者の皆様からは、「あー終わったあ!!」との声が、「また買い物したいなあ!」「家族に会いたいなあ!」とそれぞれの思いを言われていました。

お陰様で、接種後は心配されていた大きな副作用もなく、職員一同安堵しました。



接種



待機

主任生活相談員 黒川 睦美



## 誕生日会 『マジックショー』

6月24日：毎月、担当職員がアトラクションの出し物を考え、誕生日会を盛り上げています。

今回は初の試みとして、入所者の方の中にマジックの得意な方がおられお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。

マジックその1・・・トランプを使って、選んだ4枚がすべて同じ数字に揃うとのこと。が!! 1枚だけ外れてしまうというハプニングもありましたが、何とか笑いで乗り切りました。

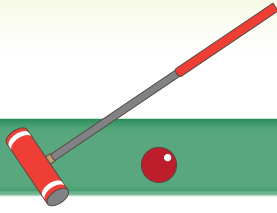
マジックその2・・・カレンダーを使い、事前に決めた数字（60）に対し、選んで○で囲った数字（4個）を足すと、事前に予想した数字になるとのこと。日頃から職員を相手にマジックの腕を磨いておられますが、この日は少し緊張したのか手違いもありましたが、入所者の皆さんからの大きな拍手にとっても満足されていました。

最後に施設長が「兄弟船」を熱唱?カラオケ採点マシンで『89点』と高得点が出ました。

さあ、次回この点数を超える挑戦者が現れるのでしょうか～



計画作成担当 古屋 純子



## 初夏のミニ運動会

6月30日：梅雨晴間、運動会を行いました。

2回のコロナワクチン接種も無事に終わりましたが、コロナ禍の運動会とあって競い合わず楽しんでもらう目的で競技も3種目に絞りました。

プログラムと選手名簿を共同生活室に貼ると、「運動会があるらしいで！私は白組、〇〇さんも白組かな。頑張ろうで！」と久しぶりの行事に笑顔で楽しそうに話をされていました。

14：00～運動会開始。プログラム1番は施設長の挨拶。次に職員と入所者代表の各1名が前列でラジオ体操の模範演技を行うと共に、皆さんも曲に合わせて準備運動を行いました。

いよいよ競技開始です。『ボール送り』：椅子に座り、次の人へと次々ボールが送られて行きます。

いつも控えめな方が大きな声で声援を送り、白熱した戦いとなりました。

引き続き、『手作りのコロナ菌めがけて玉を投げ、箱の中の玉が多い方が勝つ』：という玉入れを行いました。手持ちの玉（3個）を憎らしいコロナ菌めがけ、一生懸命手を伸ばし投げられていました。

最後の競技は職員です。『グランドゴルフに挑戦』：球筋を読むにわかキャディーも付きましたが、思い通りの“カップイン”とはならずでした。

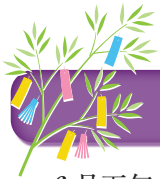
閉会は4年の間、遠距離通勤されていた事務員の岡さんが済生会ライフケアセンターへの異動で、この日は和みでの最終日。胸に秘めた数々の思い出と共にお別れの挨拶を行い、涙する入所者の方々と別れを惜しんでの閉会となりました。



やられたん  
まいりましたん



介護職員 金田 由子



## 『星に願いを』

6月下旬より七夕行事に向けて、飾り付けの準備を各ユニット毎に始めました。

「足が良くなりますように」・「アユ釣りがしたい」・「コロナが早くなりますように」「家族に会えますように」等、コロナ終息を願う短冊も多くみられました。

“願いが叶いますように”と話されながら、短冊や飾りが落ちないように上手に笹に飾り付けされました。

お盆には少し早いですが、今が旬の野菜を使い、ナスで『牛』、キュウリで『馬』、ミョウガで『鶏』の精霊馬を作りました。皆さん子供の頃の思い出話に花が咲いていました。



計画作成担当 古屋 純子

我々の仲間入りしました。

- ①抱負、自己紹介等
- ②趣味・特技・好きな言葉、音楽



みなみがた荘

介護職員 小野 允義



- ①6月からセンターの末席に加えて頂いた小野です。日々、諸先輩方にご指導頂きながら楽しく業務をさせて頂いています。今後もご指導頂きながら利用者様一人一人に寄り添えられるケアを目指して、知識や経験だけでなく人間的な成長もしていきたいです。
- ②特に好きな言葉は、「凡事徹底」「水は方円の器に随う」「車輪の再発明はしない」などの言葉を大切にしています。趣味は、自然や人の想いに触れられるのが好きなので、フィールドワークや読書、珈琲を楽しむことです。

みなみがた荘

事務員 唯野 友美



- ①4年ぶりにライフケアセンターに戻って参りました。経理課員としてのブランクが大きく不安なことも多々ありますが、心機一転頑張りたいと思います。
- ②旅行が好きなので、コロナが落ち着いたら遠方の友人のところへ遊びに行きたいです。

なでしこ苑

薬剤師 木村 啓子



- ①5月中旬よりお世話になっています。新しい出会いに感謝して前向きにがんばりますのでよろしくをお願いします。
- ②アンチエイジング(切実)  
五輪観戦(今年だけのにわかファン)

たちばな苑

経理課副主任 岡 俊弥



- ①7月より4年ぶりにライフケアセンターに戻ってきました。懐かしい環境と顔ぶれに少しほっとしています。和みの郷かなやでの経験を活かし、心機一転頑張ろうと思います。
- ②趣味：子供とのソフトボール  
レギュラー目指して日々特訓中です。

憩いの丘

事務長心得 寺尾 浩司



- ①7月より岡山済生会総合病院より異動しました寺尾と申します。施設で勤務させていただくことは初めてとなり、新しく学ばせていただくことも多いと思いますが、前向きにトライし施設や地域の皆様に貢献できたらと思います。よろしくをお願いします。
- ②趣味はスポーツ観戦です。今はコロナ禍で観戦はテレビ観戦が中心になっていますが、以前は地元のチームの応援に旅行を兼ねて各地へ観戦に行っていました。以前のような日常に戻ることを心待ちにしています。

憩いの丘

運転手・労務員 實光 卓司



- ①3月よりお年寄りの送迎の運転手をさせて頂いています。安全運転を心掛けていきたいと思えます。
- ②深流釣り

憩いの丘

運転手・労務員 大原 実



- ①3月より運転、用務員として主に生活バスに常務しています。地域の皆さまに少しでも役立ちたいと安全第一に運行する事を心掛けていきます。よろしくお願致します。
- ②旅行・ツーリング

和みの郷かなや

事務長心得 岡本 忠志



- ①岡山済生会ライフケアセンターより異動してきました。これからは児島から片道109kmという長い距離を毎日通勤します。仕事も運転も気を引き締めて頑張りますのでよろしくお願致します。
- ②映画、読書。



新型コロナウイルスも変異株等の影響でついに第5波の影響が出ています。新型コロナワクチンの接種も高齢者から徐々に65歳以下の一般接種へ移行していますので1日も早い終息を祈るばかりです。コロナ禍が長期化する中、賛否はあるようですが延期されていた東京オリンピックが開催され、世界中から選手が集まり、オリンピックを目標に努力を積み重ねてきた選手の活躍に感動させられました。

やはり日々の生活の中でも感動や喜びは必要であり、感染防止に努めながら安心して楽しく毎日を過ごしていただきたいと思います。

憩いの丘 高中 和明